

MSD44-30005/6



モデリスタバージョン サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はモデリスタサイドスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

・TOYOTAアクセサリ フェンダーアーチモール(カラード)と同時装着の際は、フェンダーアーチモール(カラード)を先にお取り付けください。

●本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MSD44-30005-A0	フレッシュホワイトパール(090)	クラウンスポーツ '23.8~	
MSD44-30005-C0	ブラック(202)		
MSD44-30006-NP	未塗装品		

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。<https://www.modellista.co.jp/>

■ 構成部品

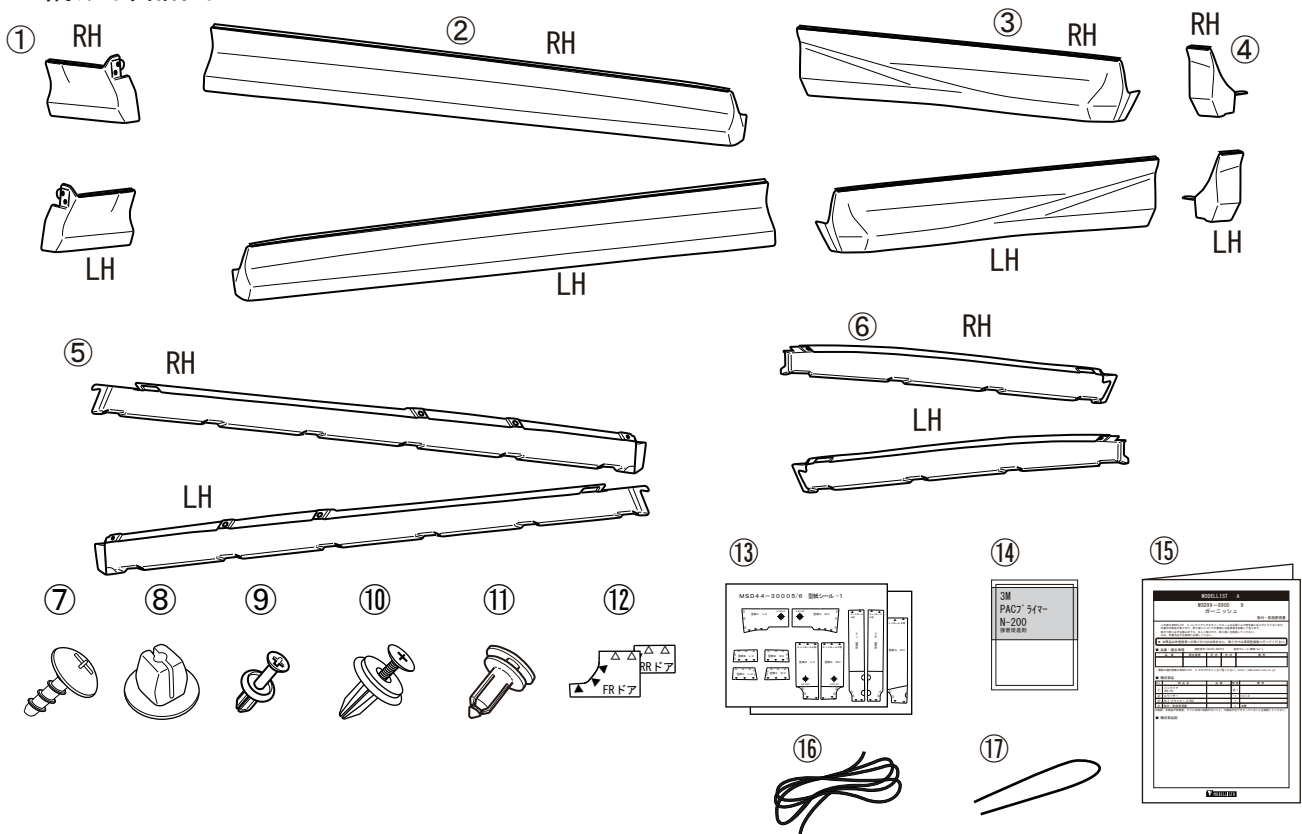
No.	部品名	数量	備考
①	フェンダーパネル (RH/LH)	各1	
②	フロントドアパネル (RH/LH)	各1	
③	リヤドアパネル (RH/LH)	各1	
④	クォーターパネル (RH/LH)	各1	
⑤	フロントドアインナー (RH/LH)	各1	
⑥	リヤドアインナー (RH/LH)	各1	
⑦	タッピングスクリュー	20	5×12
⑧	グロメット	20	
⑨	スクリベット(小)	4	
⑩	スクリベット(大)	16	
⑪	クリップ	4	
⑫	断面ゲージ	各1	FRドア用/RRドア用
⑬	型紙シール	2	
⑭	PACプライマー	2	N-200
⑮	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MSD44-30006-NP (未塗装品セット) のみに同梱

No.	部品名	数量	備考
⑯	エンドモール (ブラック)	2	I型 L=2500mm
⑰	エンドモール (ブラック)	1	L型 L=500mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



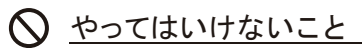
注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

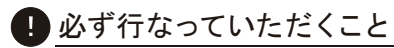


アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

警告

- ⊙ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❶ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

注意

- ❶ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❶ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❶ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊙ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

- ❶ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❶ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取り付け上のご注意（取り付け作業の方へ） 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取り付け構成図 . . . 4
4. 取り付け準備、取り付け要領 5～19
5. 取り付け完了後の点検・注意事項 20

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・保護メガネ
- ・ 電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.0mm）
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）など・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

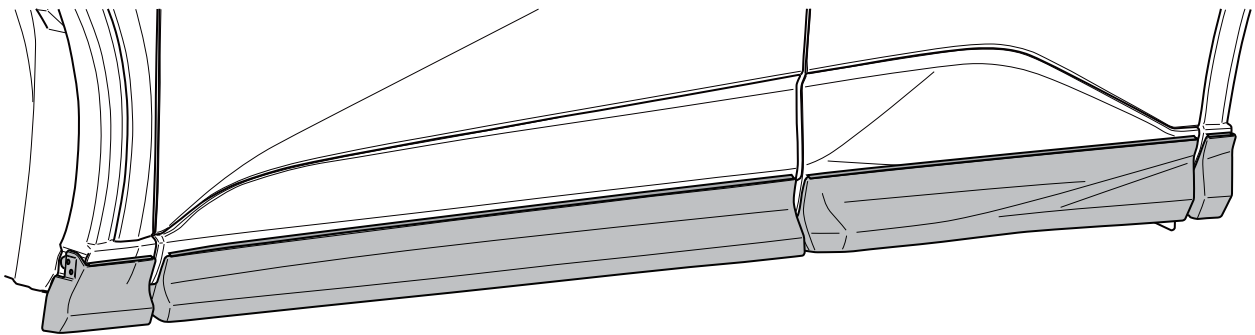
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト<<https://www.modellista.co.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

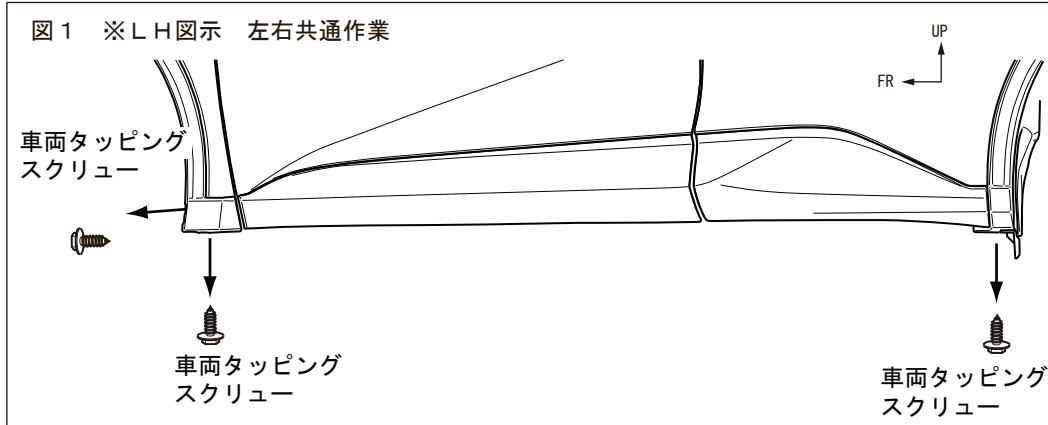
※LH図示



■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

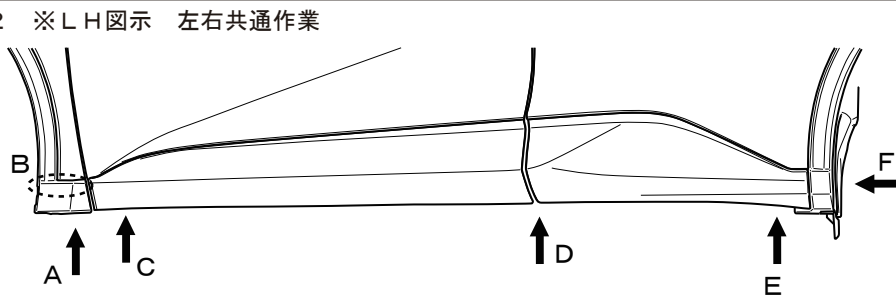
□ サイドスカート取付準備



1. 図1のように車両タッピングスクリューを取り外す。

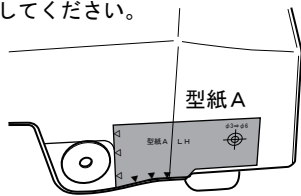
△注意：取り外した車両タッピングスクリューは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

図2 ※LH図示 左右共通作業



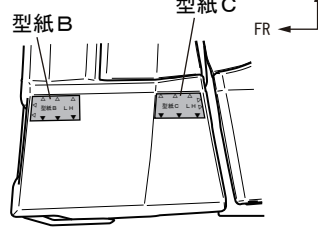
矢視A拡大

フェンダーライナーをめくって作業してください。



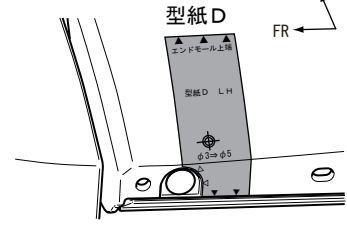
△部を型のラインに合わせる
▲部をPLに合わせる

B部拡大



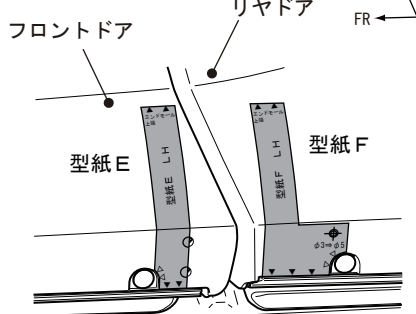
△部をRエンドに合わせる

矢視C拡大



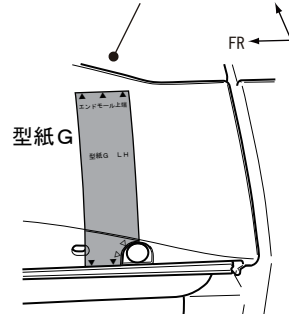
△部をRエンドに合わせる
▲部をPLに合わせる

矢視D拡大



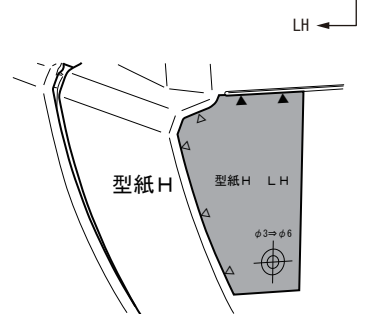
△部をRエンドに合わせる
▲部をPLに合わせる

矢視E拡大



△部をRエンドに合わせる
▲部をPLに合わせる

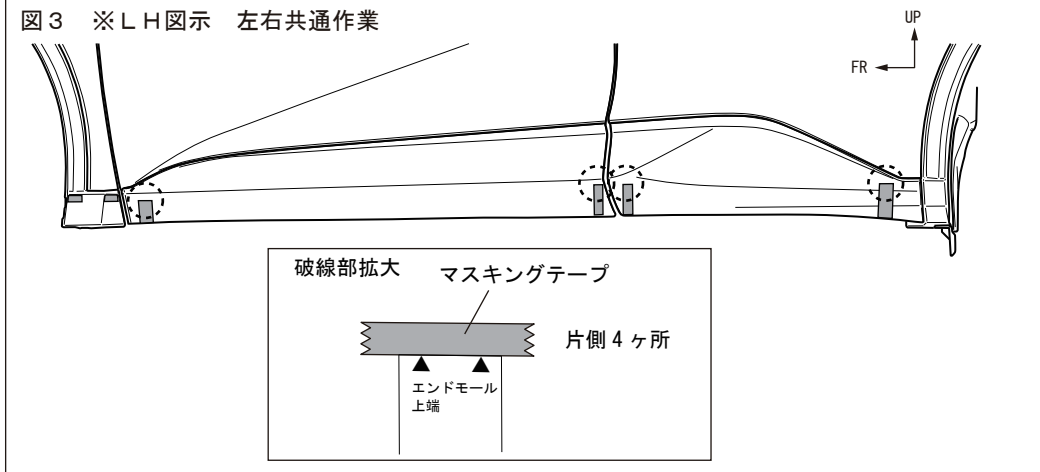
矢視F拡大



△部をRエンドに合わせる
▲部をリブの根本に合わせる

2. ⑬型紙シールを図2のように各パネルに位置を決め貼り付ける。

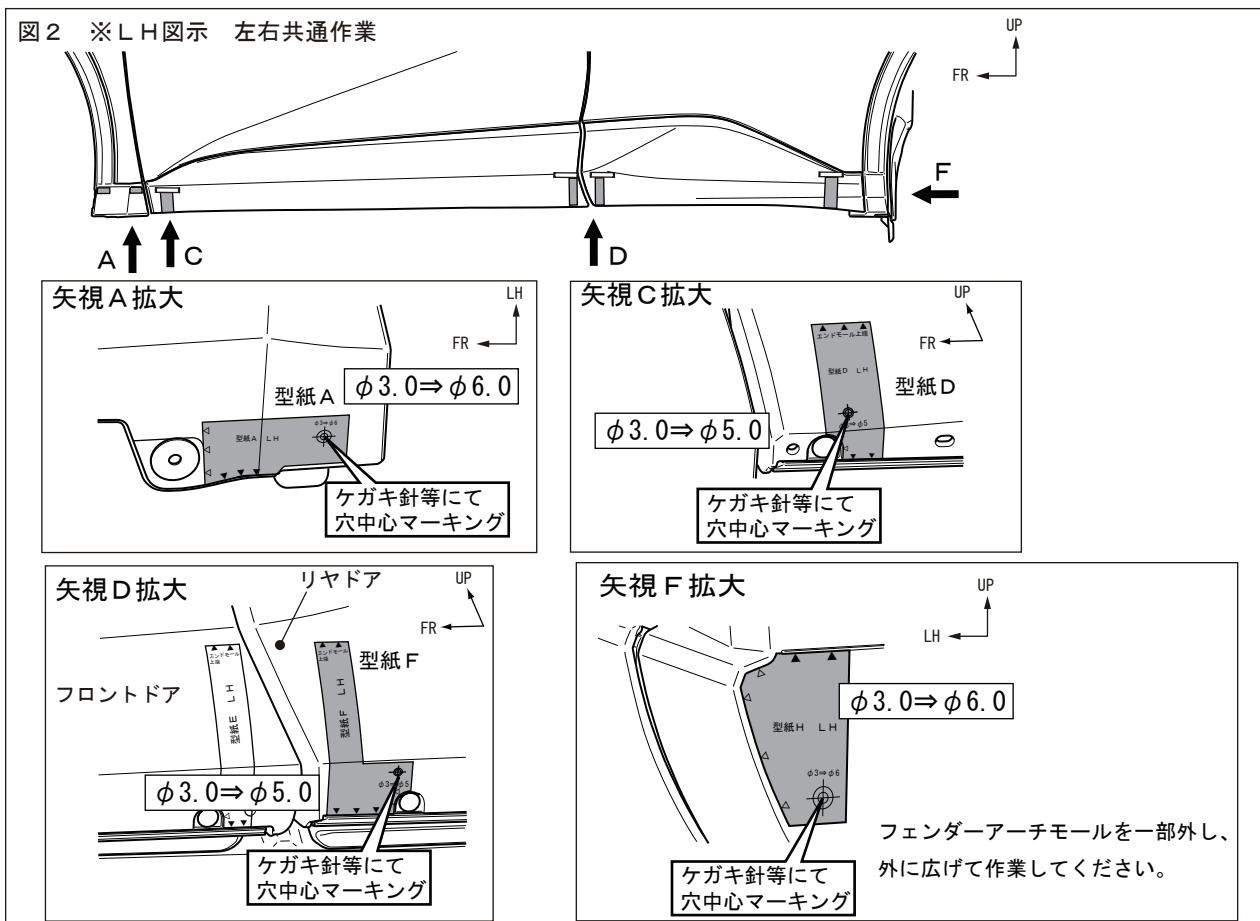
図3 ※LH図示 左右共通作業



3. 図3のように貼り付けた型紙シール上端にマスキングテープを貼りつける。

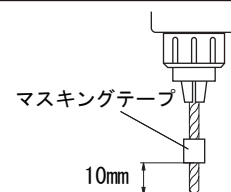
△注意：取り付けの高さ位置出しのため、正確な位置でマスキングを行ってください。

図2 ※LH図示 左右共通作業



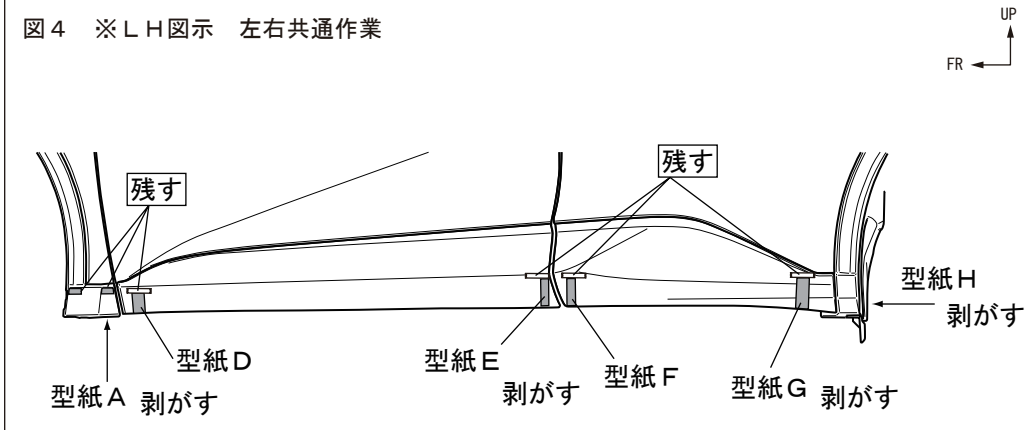
4. 型紙記載の穴あけ部センターに下穴をあけ、 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 6.0$ 、 $\phi 3.0 \rightarrow \phi 5.0$ の順で穴あけを行う。
(片側4箇所)

- アドバイス：・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にマスキングテープ等で貫通防止策を施して下さい。
・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。
・穴あけ後、穴周囲のバリを除去してください。



△注意：穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。

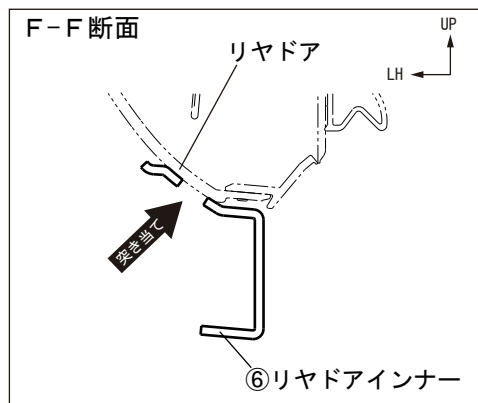
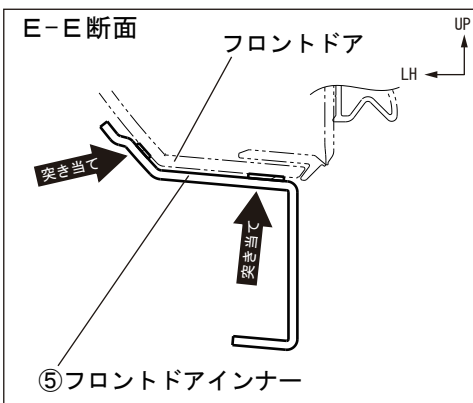
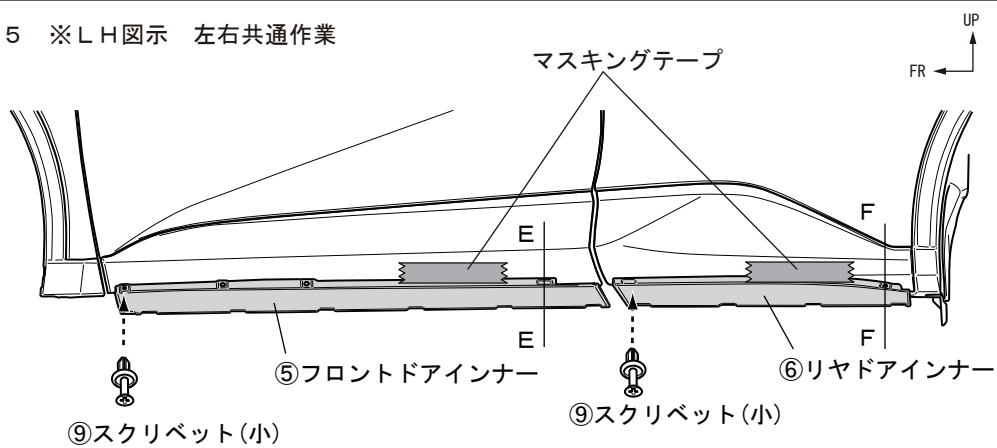
図4 ※LH図示 左右共通作業



5. 型紙A/D/E/F/G/Hを剥がす。

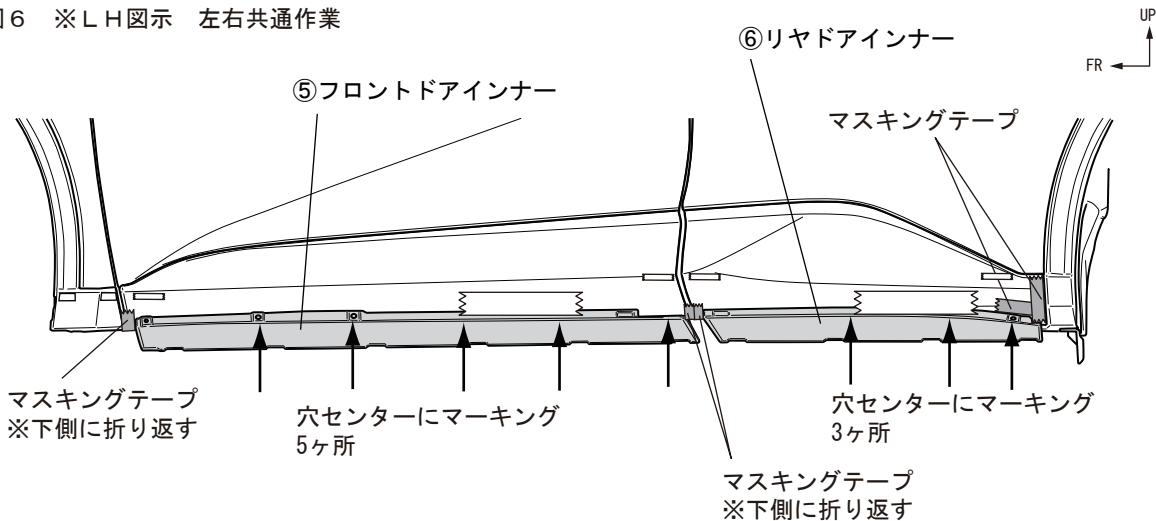
△注意：取り付けの高さ位置出しマス킹、型紙B/Cは剥がさないでください。

図5 ※LH図示 左右共通作業



6. 図5のように⑤フロントアインナー、⑥リヤドアインナーを⑨スクリベット(小)で仮固定し、全体をマス킹テープで仮固定する。

図6 ※LH図示 左右共通作業



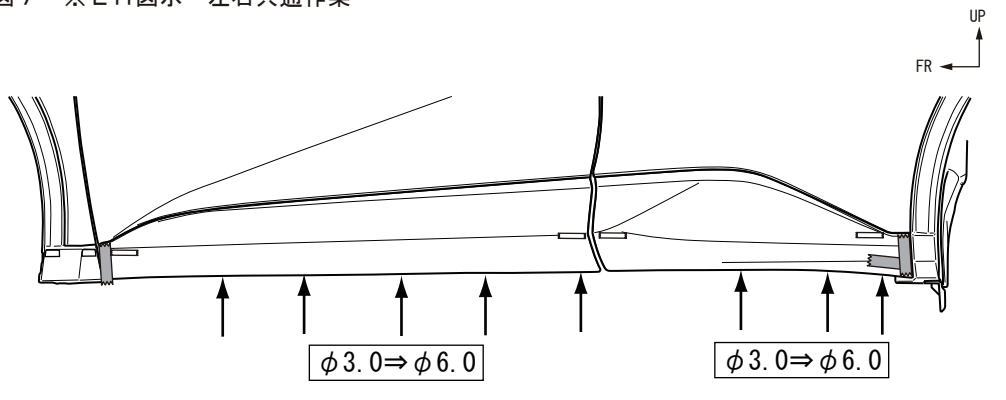
7. 図6のように⑤フロントドアインナー、⑥リヤドアインナーの穴部センターにマーキングする。
(フロントドア5箇所/リヤドア3箇所)

8. 図6のように⑤フロントドアインナー、⑥リヤドアインナーの前後の外形に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

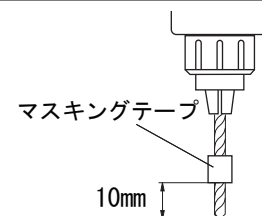
9. ⑤フロントドアインナー、⑥リヤドアインナーを取り外す。

図7 ※LH図示 左右共通作業



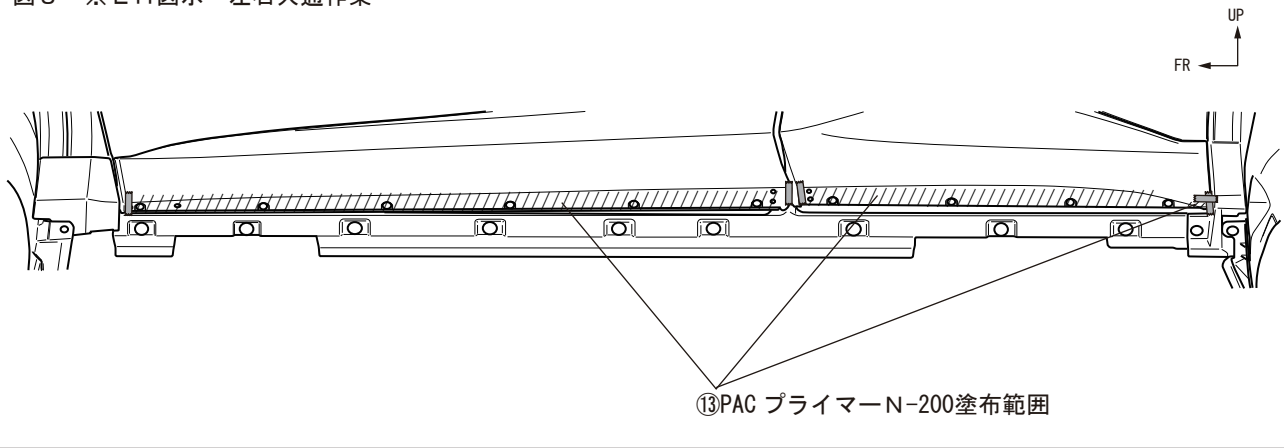
10. 前項でマーキングした位置に下穴をあけ、φ3.0→φ6.0の順で穴あけを行う。
(フロントドア5箇所/リヤドア3箇所)

- 👉 アドバイス：
- ・穴あけ作業の際は、ドリルの刃にマスキングテープ等で貫通防止策を施して下さい。
 - ・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。
 - ・穴あけ後、穴周囲のバリを除去してください。



△注意：穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。

図8 ※LH図示 左右共通作業



11. 図8のように⑤フロントドインナー、⑥リヤドインナーの両面テープ貼り付け部（斜線部）を清掃・脱脂し、⑬PAC プライマー N-200を塗布する。

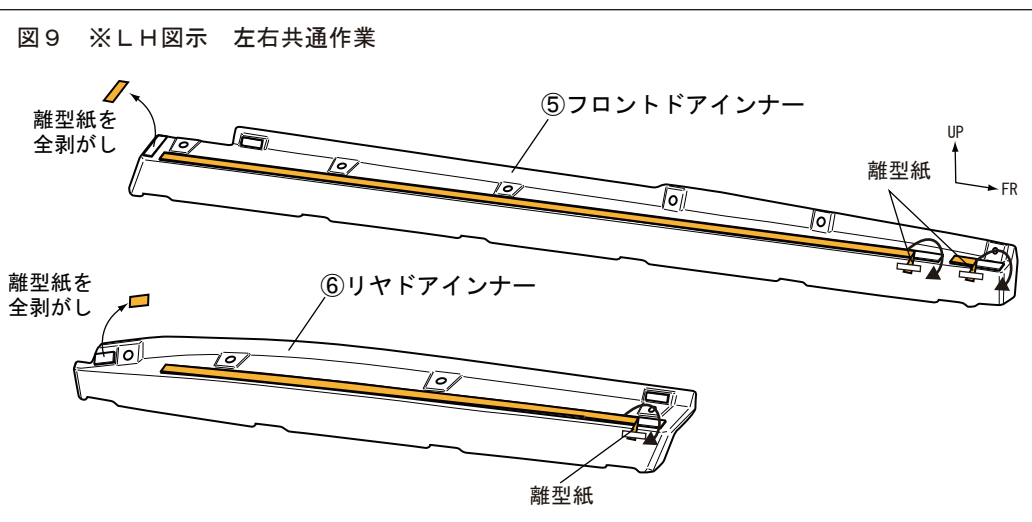
👉 アドバイス：清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

⚠️ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

⚠️ 注意：⑬PACプライマーN-200はサイドスカート本体の取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。

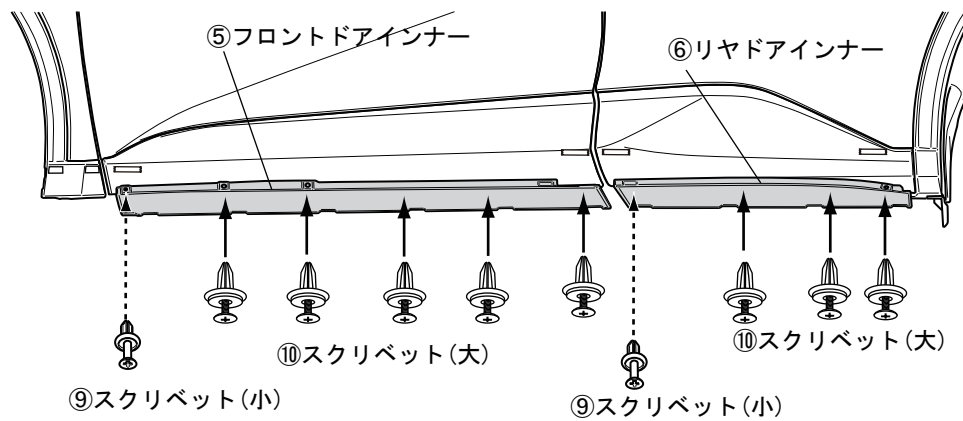
12. マスキングテープを剥がす。

図9 ※LH図示 左右共通作業



13. 図9のように⑤フロントドインナー、⑥リヤドインナーの両面テープの離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。

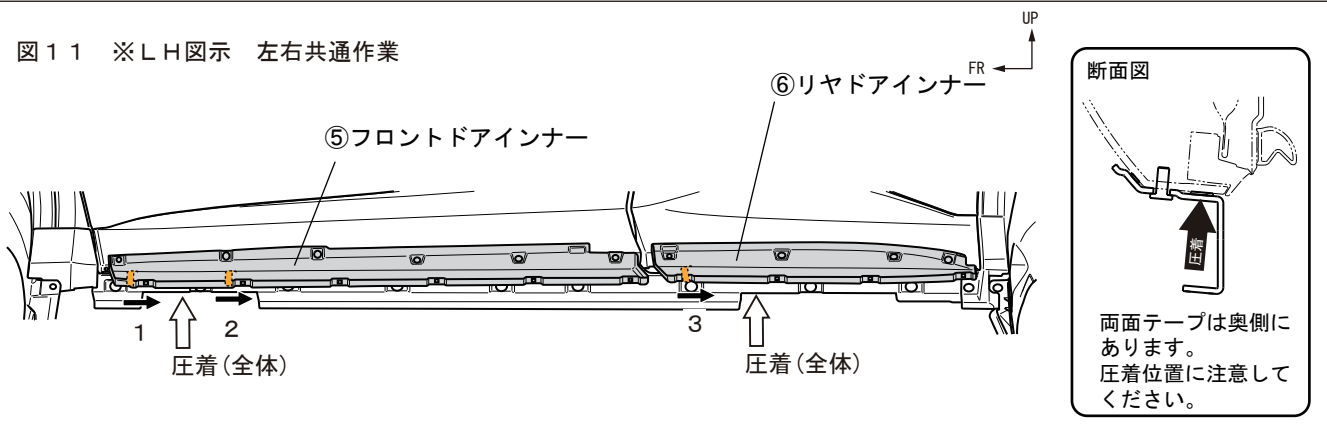
図10 ※LH図示 左右共通作業



14. 図10のように⑤フロントドアインナー、⑥リヤドアインナーを⑨スクリベット(小)、⑩スクリベット(大)で固定する。(フロントドア6箇所/リヤドア4箇所)

👉 アドバイス：指で入らない場合は工具を使用して、ピンに対してまっすぐに押し込んでください。

図11 ※LH図示 左右共通作業

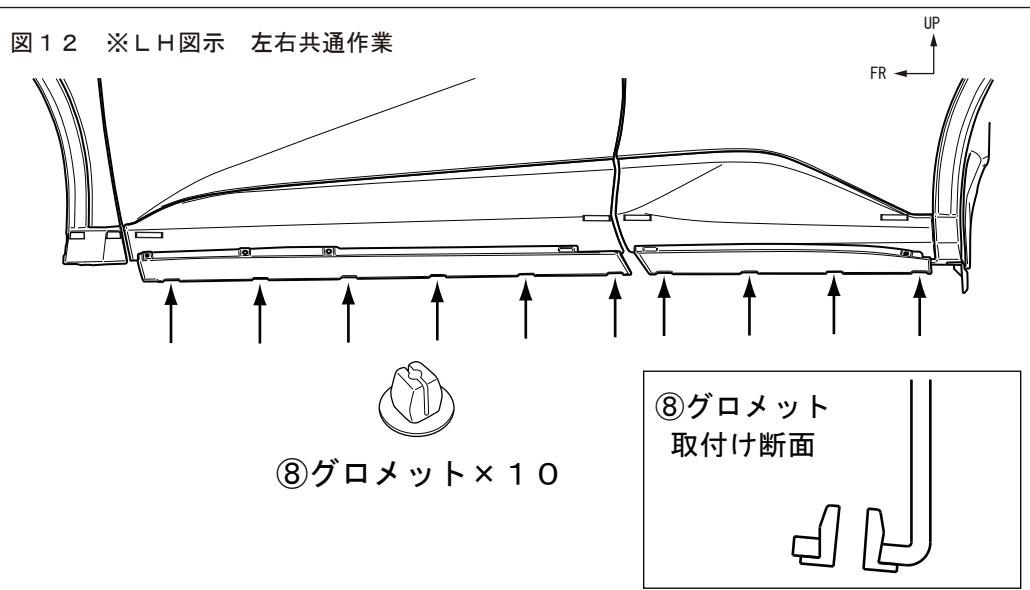


15. 図11のように取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(フロントドア左右各3箇所、リヤドア左右各2箇所)

16. 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度で行ってください。

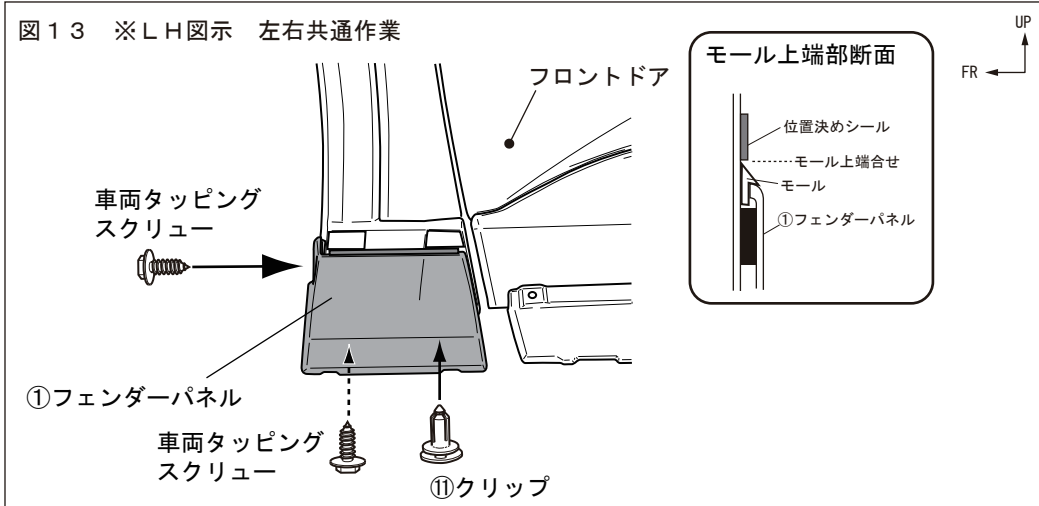
⚠️ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、両面テープの密着が悪くなり、浮き・剥がれの原因となる可能性があります。

図12 ※LH図示 左右共通作業



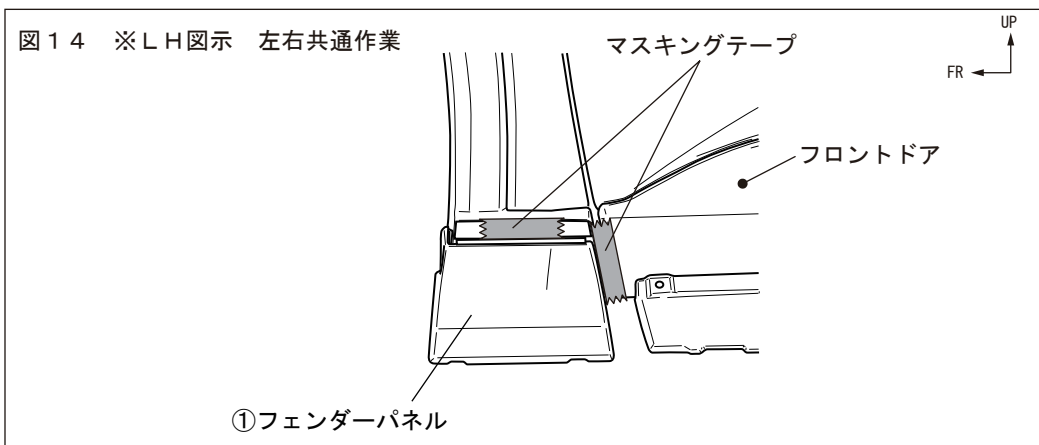
17. 図12のように各インナー下面の口穴に⑧グロメットを差し込む。(10箇所)

図13 ※LH図示 左右共通作業



18. 図13のように①フェンダーパネルを位置決めし、車両タッピングスクリュー・⑪クリップで仮固定する。

図14 ※LH図示 左右共通作業

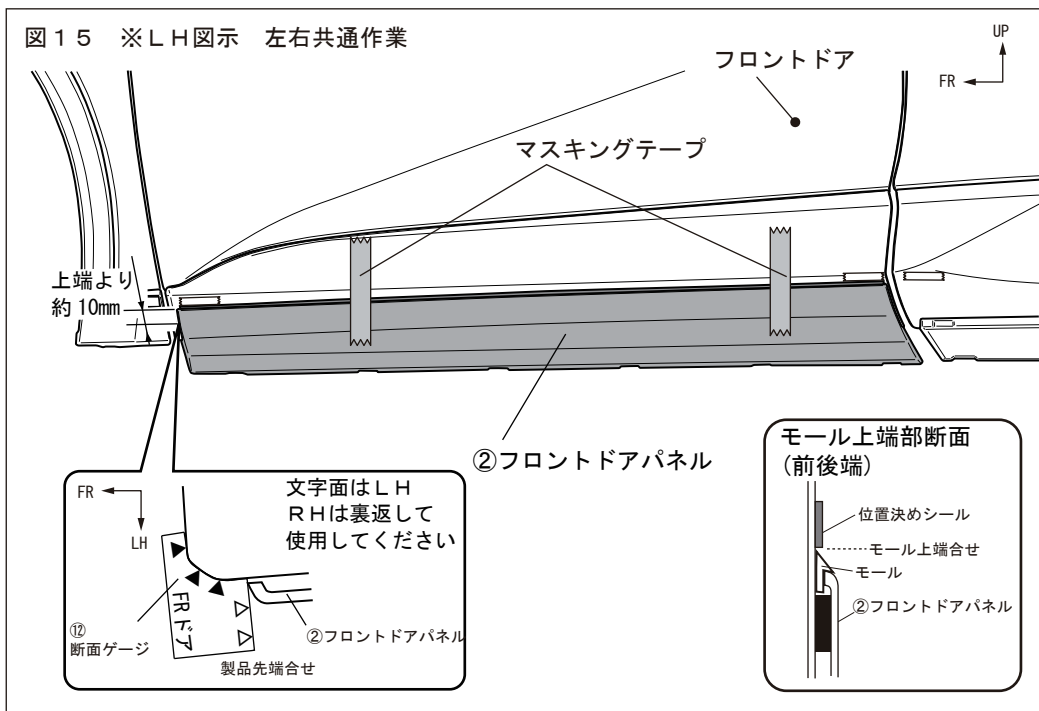


19. 図14のように①フェンダーパネル外形に合わせてマス킹テープを貼り付ける。

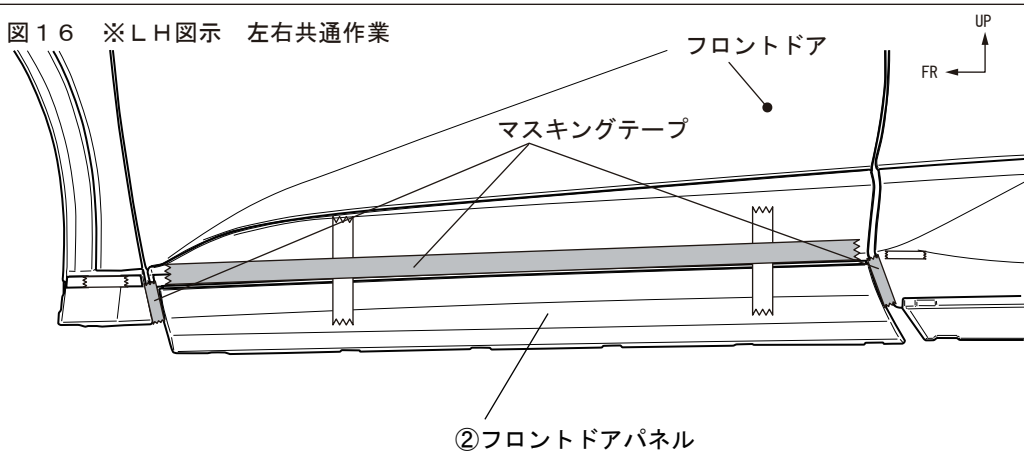
△注意：PACプライマー塗布範囲のマス킹作業のため正確な位置出し、マス킹を行ってください。

20. ①フェンダーパネルを取り外す。

図15 ※LH図示 左右共通作業



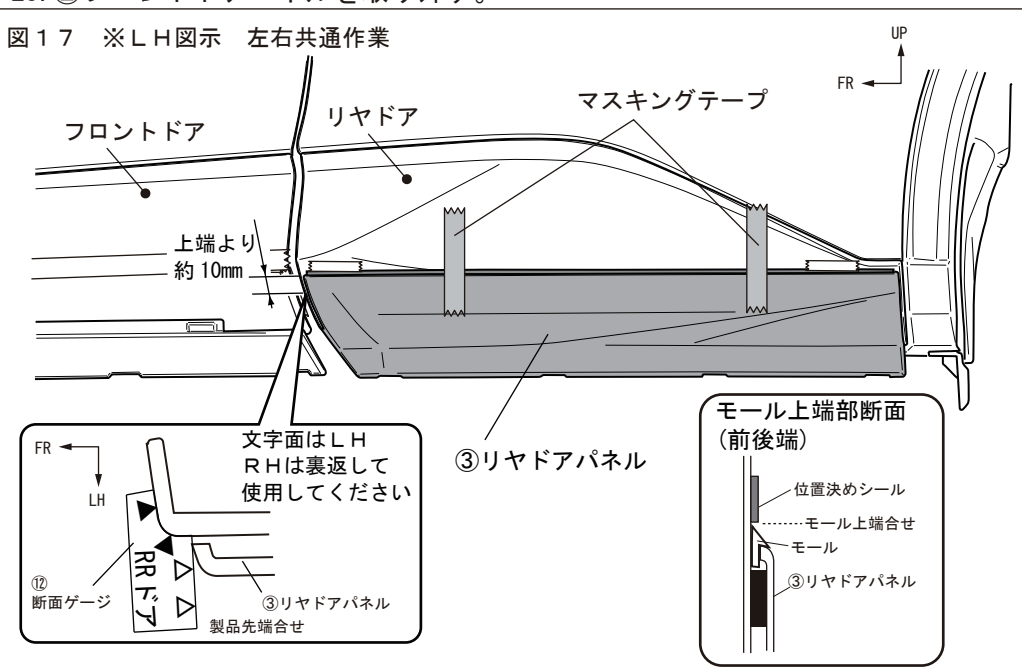
21. 図15のように②フロントドアパネルを位置決めし、マス킹テープで仮固定する。



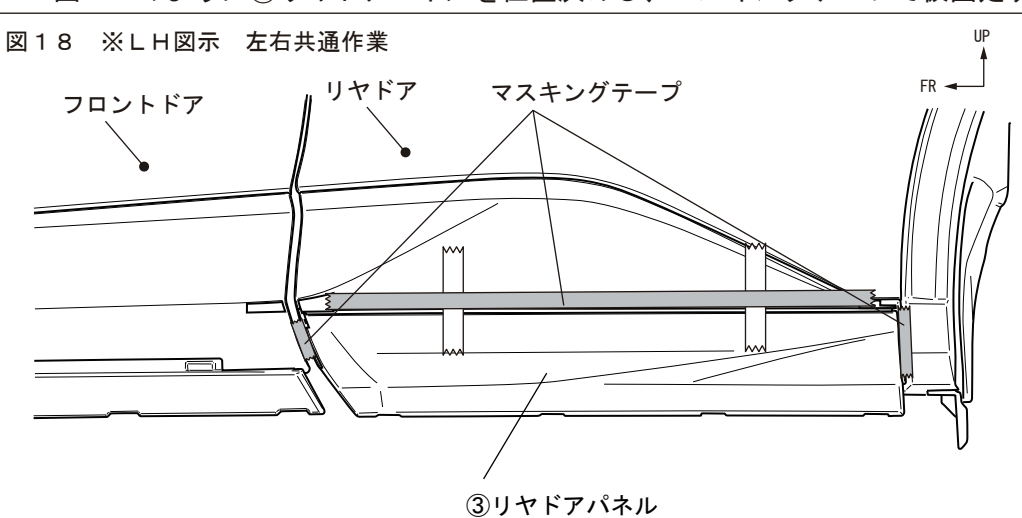
22. 図16のように②フロントドアパネル外形に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

23. ②フロントドアパネルを取り外す。



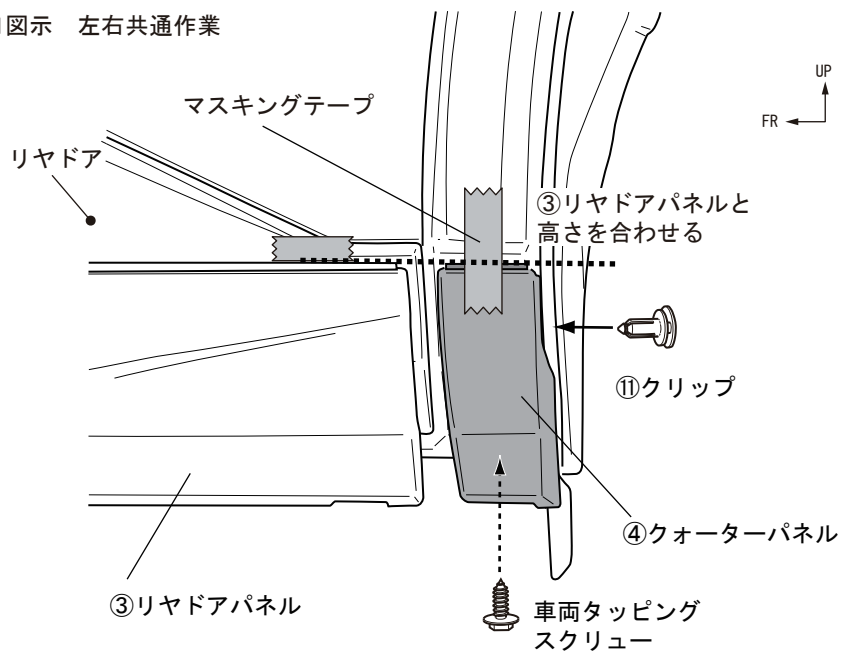
24. 図17のように③リヤドアパネルを位置決めし、マスキングテープで仮固定する。



25. 図18のように③リヤドアパネル外形に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

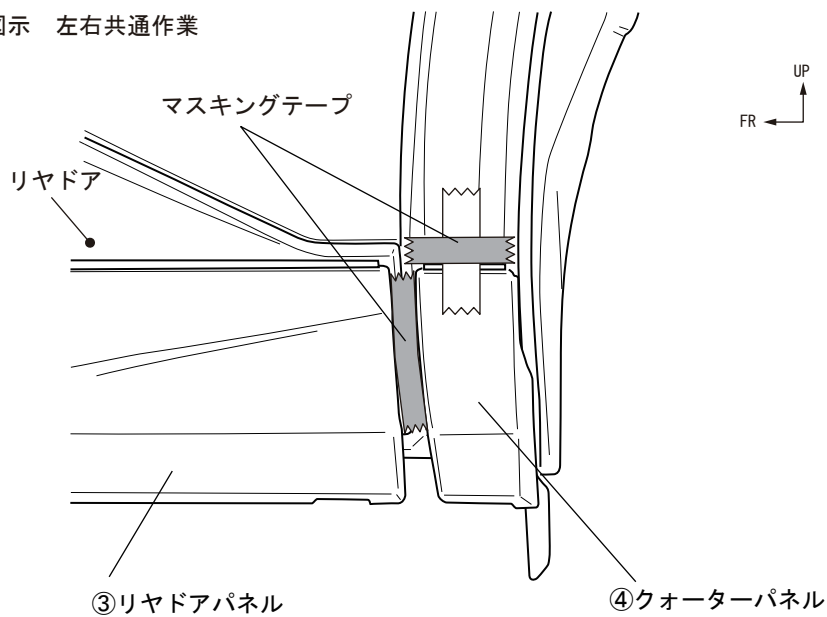
△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図19 ※LH図示 左右共通作業



26. 図19のように④クォーターパネルを位置決めし、車両タッピングスクリュー・⑪クリップで仮固定し、マスキングテープで仮固定する。

図20 ※LH図示 左右共通作業

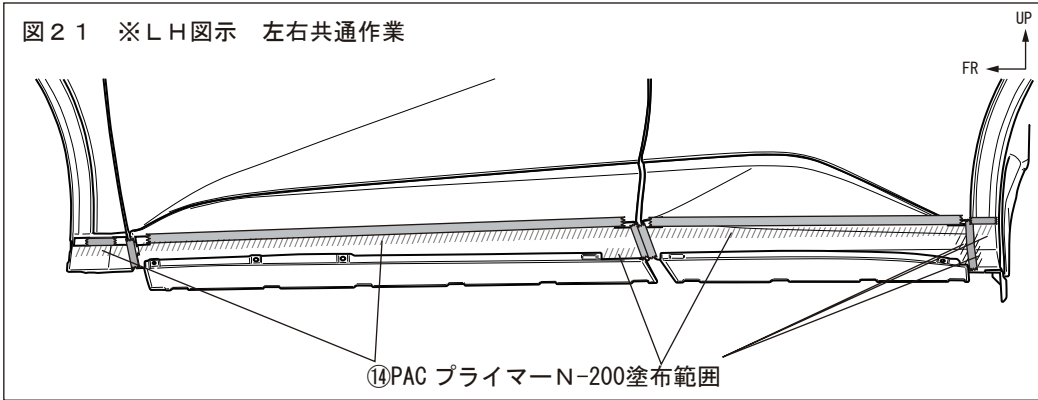


27. 図20のように④クォーターパネル外形に合わせてマスキングテープを貼り付ける。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

28. ③リヤドアパネルと④クォーターパネルを取り外す。

図 2 1 ※LH図示 左右共通作業



29. 図 2 1 のようにサイドスカートの内面テープ貼り付け部（斜線部）を清掃・脱脂し、
⑭PACプライマー N-200を塗布する。

アドバイス：清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

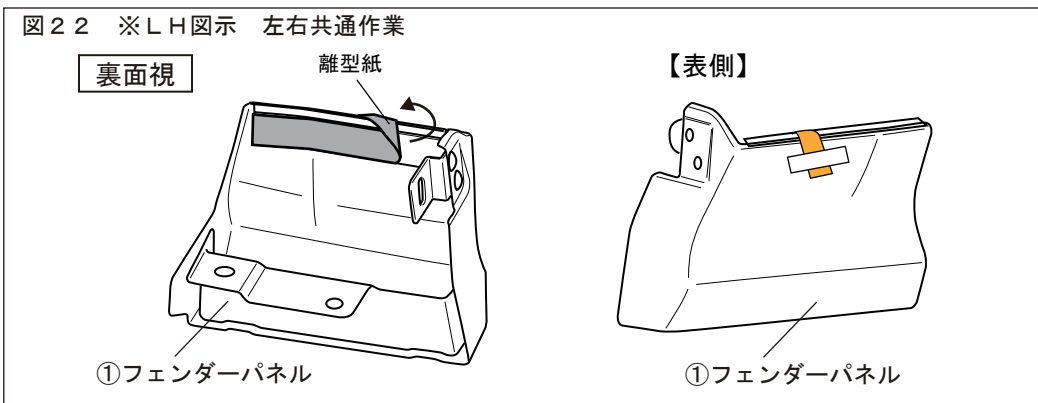
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

30. フロント、リヤの高さ出し用以外のマスキングテープを剥がす。

△注意：位置決めシールは剥がさないでください。

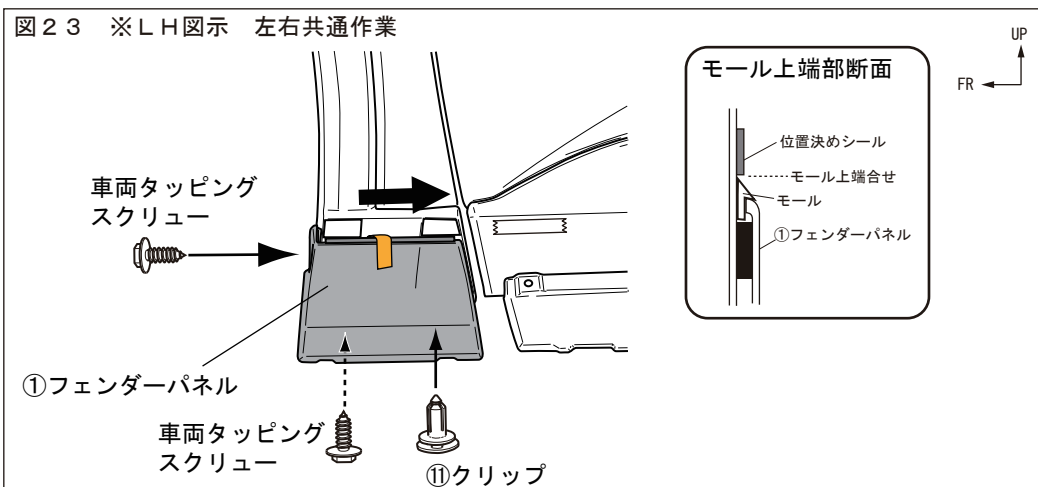
□サイドスカート取付要領

図 2 2 ※LH図示 左右共通作業



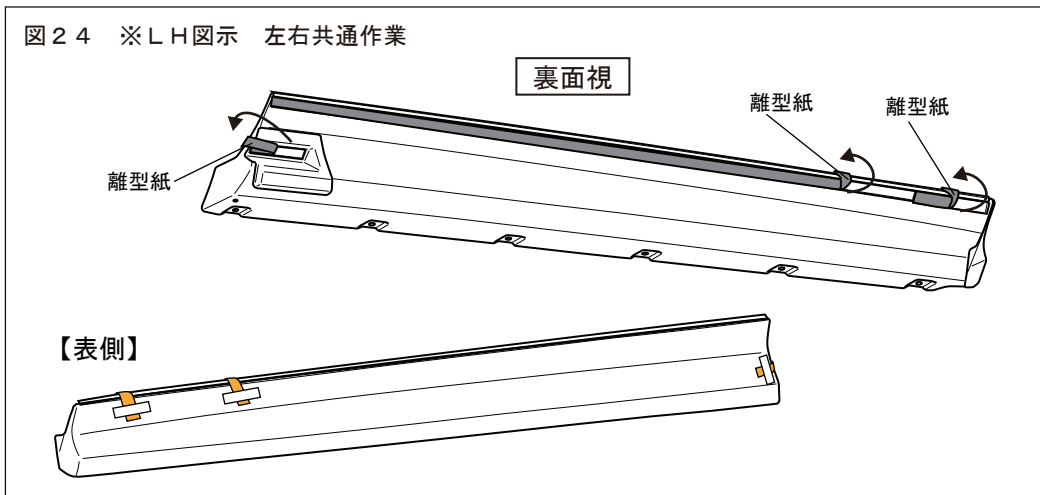
1. 図 2 2 のように①フェンダーパネルの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。

図 2 3 ※LH図示 左右共通作業



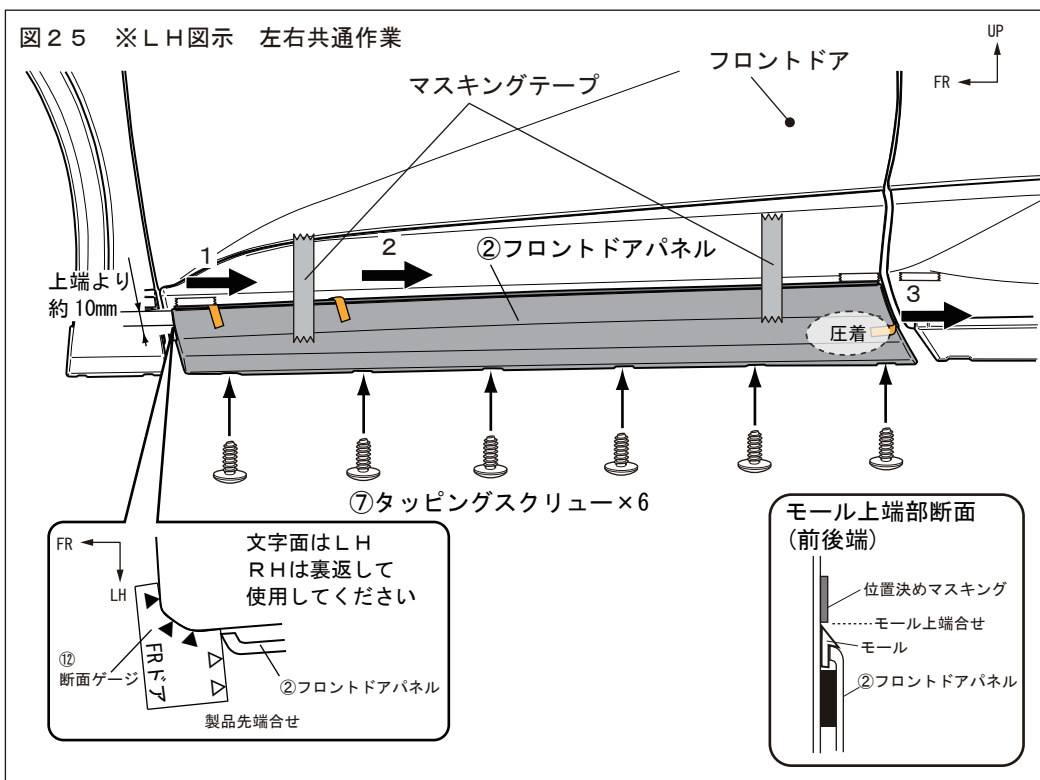
2. 図 2 3 のように①フェンダーパネルを位置決めし、車両タッピングスクリュー・車両クリップ
⑪クリップで仮固定する。
3. 取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら貼り付け圧着する。
4. 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。
5. 機械締結部を本締めする。

図24 ※LH図示 左右共通作業



6. 図24のように②フロントドアパネルの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。

図25 ※LH図示 左右共通作業



7. 図25のように②フロントドアパネルを位置決めし、⑦タッピングスクリューで仮固定し、上面をマスキングテープで固定する。

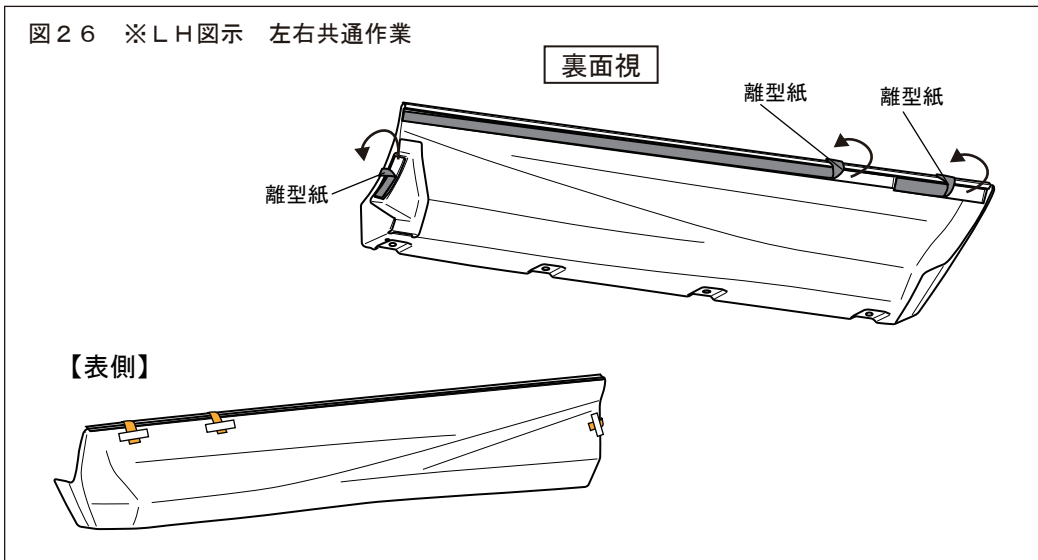
8. 取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各3箇所)

9. 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度で行ってください。

10. 機械締結部を本締めする。

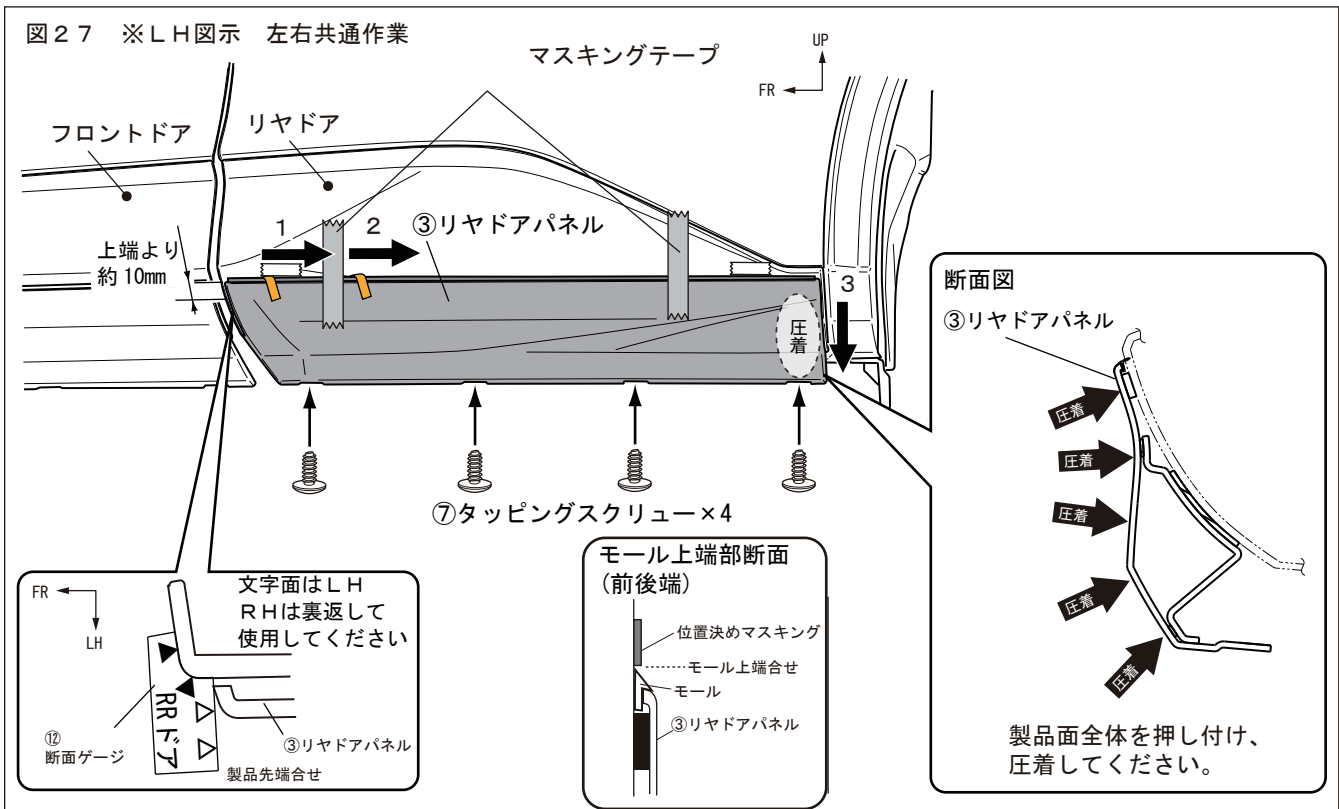
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、両面テープの密着が悪くなり、浮き・剥がれの原因となる可能性があります。

図 2 6 ※LH図示 左右共通作業



11. 図 2 6 のように③リヤ ドアパネルの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。

図 2 7 ※LH図示 左右共通作業

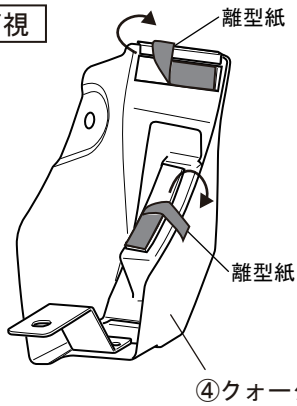


12. 図 2 7 のように③リヤドアパネルを位置決めし、⑦タッピングスクリューで仮固定し、上面をマスキングテープで固定する。
13. 取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各3箇所)
14. 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度で行ってください。
15. 機械締結部を本締めする。

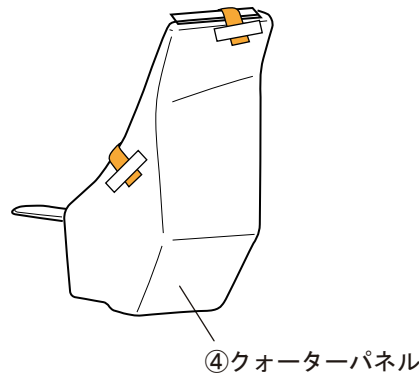
△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、両面テープの密着が悪くなり、浮き・剥がれの原因となる可能性があります。

図 28 ※LH図示 左右共通作業

裏面視

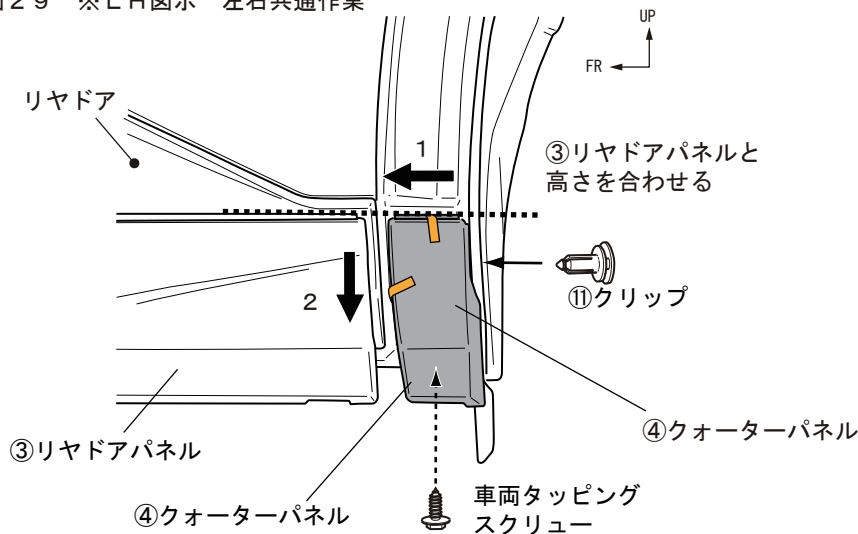


【表側】

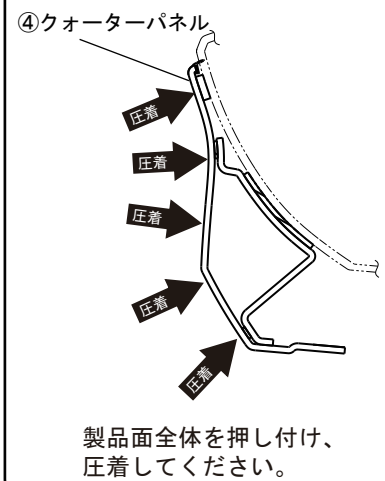


16. 図 28 のように④クォーターパネルの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。

図 29 ※LH図示 左右共通作業



断面図



17. 図 29 のように④クォーターパネルを車両タッピングスクリュー・⑪クリップで仮固定する。
18. 取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各 2箇所)
19. 両面テープの圧着は、49N (5kgf) 程度で行ってください。
20. 機械締結部を本締めする。
21. 位置決めシールを全て剥がす。

■未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD44-30006-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

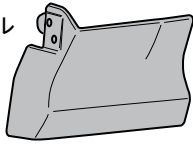
△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート塗装

図30 ※LH図示 左右共通作業

①フェンダーパネル

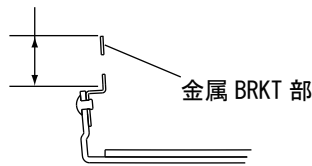


【断面図】

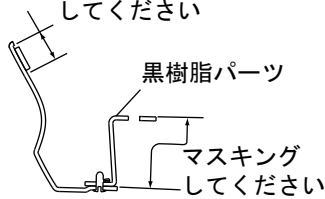
両面テープ部
マスキング
してください

【BRKT断面図】

マスキング
してください



金属 BRKT 部



黒樹脂パーツ

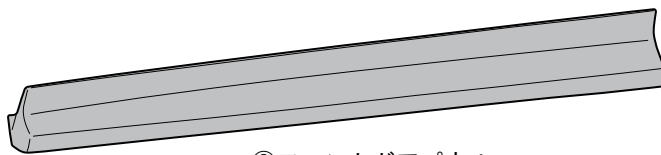
マスキング
してください

△注意：乾燥温度を60°C以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。上塗り用の塗装はウレタン系をご使用ください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）などを使用し、パーツクリーナーおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

脱脂要領書をあわせて確認してください。



②フロントドアパネル

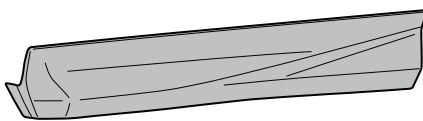
【断面図】



両面テープ部
マスキング
してください

【断面図】

両面テープ部
マスキング
してください

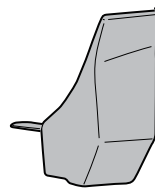


③リヤドアパネル



【断面図】

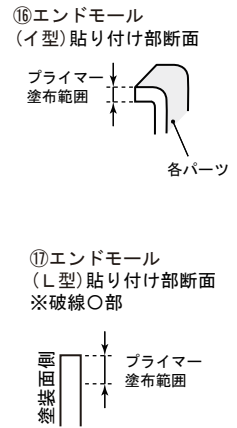
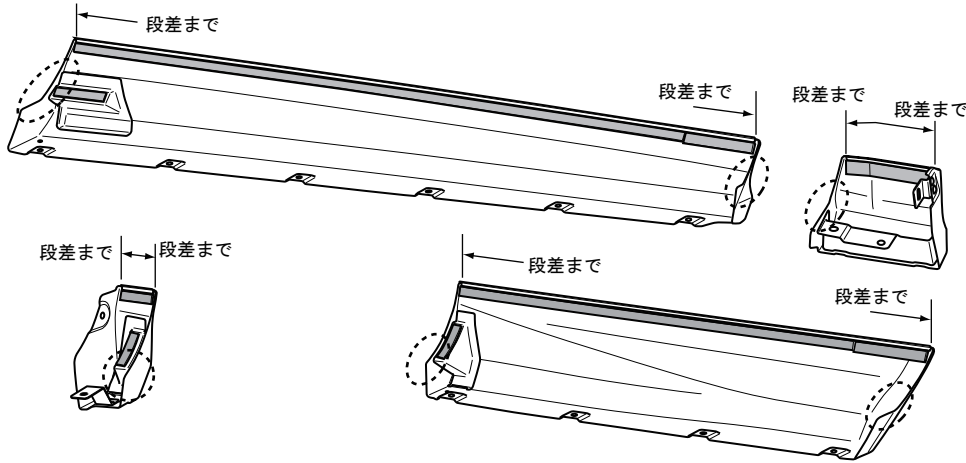
両面テープ部
マスキング
してください



④クォーターパネル

1. 図30のように①フェンダーパネル②フロントドアパネル③リヤドアパネル④クォーターパネルを車両色で塗装する。

図3 1 ※LH図示 左右共通作業

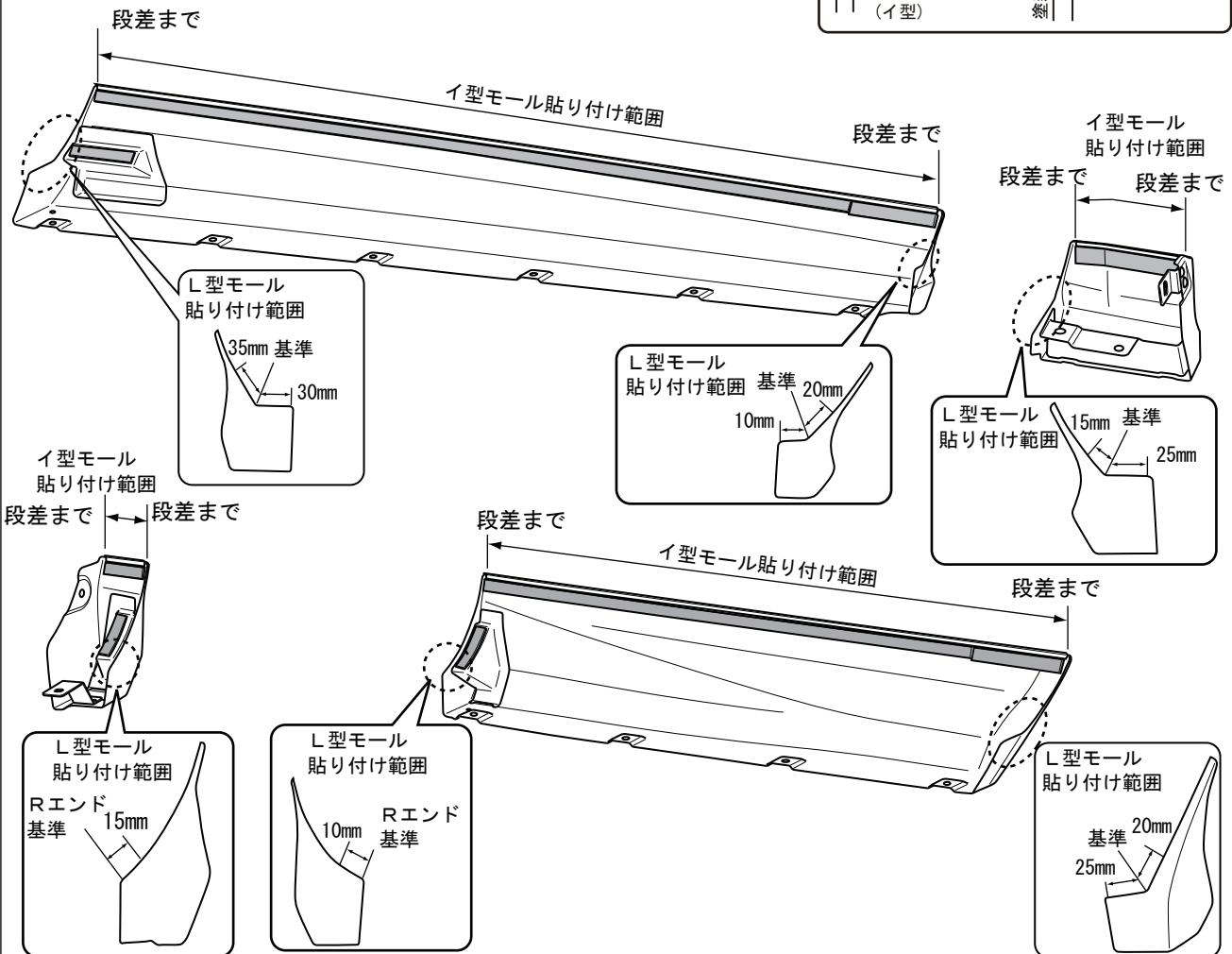
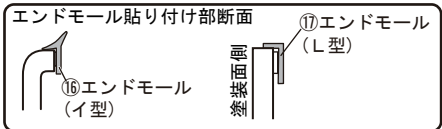


2. 図3 1のようにサイドスカートのエンドモール貼り付け部(断面図参照)を清掃・脱脂し、
⑭PACプライマー N-200を塗布する。

👉 アドバイス：清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

⚠️ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

図3 2 ※LH図示 左右共通作業
エンドモールはブラックのみになります。

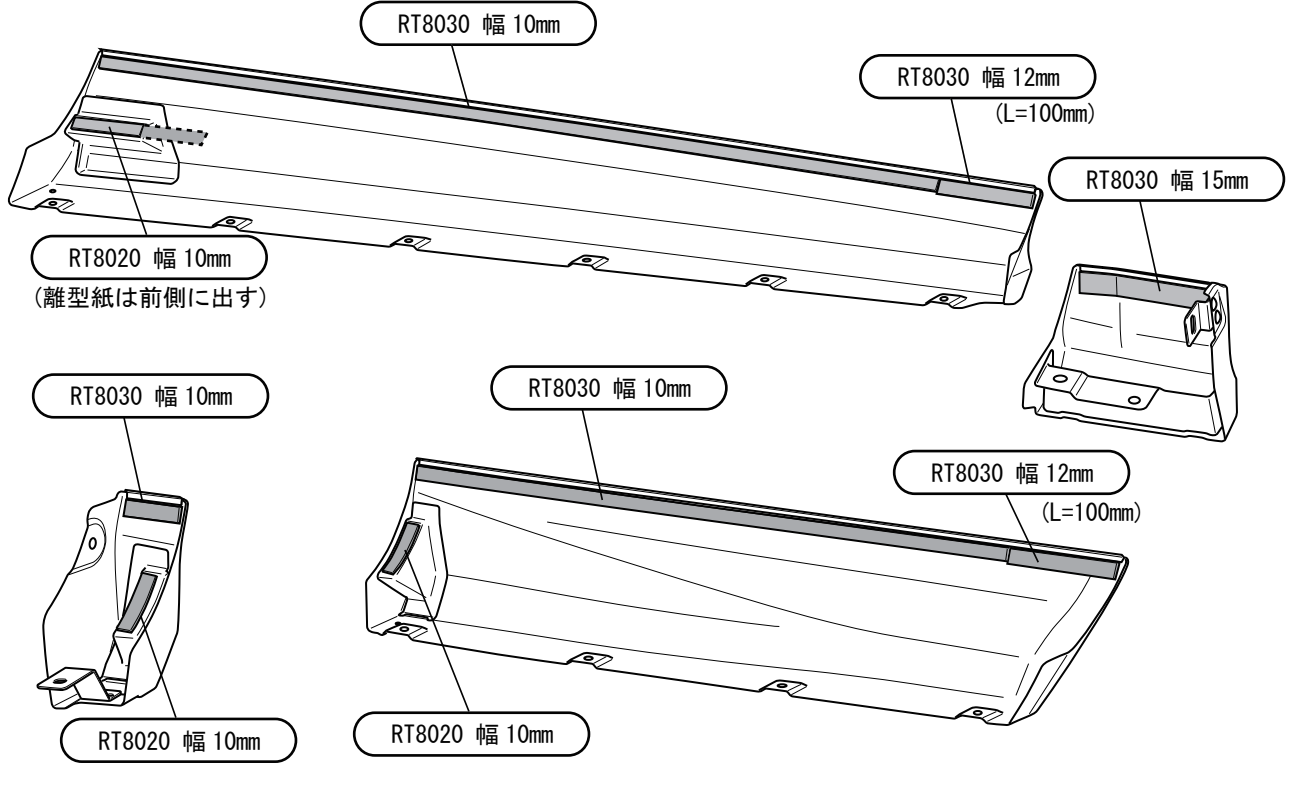


3. 図3 2のようにサイドスカートに⑯⑰エンドモールを貼り付ける。

■補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用してサイドスカートの再取り付けを行う際は、図を参考に両面テープを選択し貼り付けてください。

図33 ※LH図示 左右共通作業



■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
4. 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

モデリスタ商品問い合わせ窓口

TEL: 050-3161-1000

<https://www.modellista.co.jp/>

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

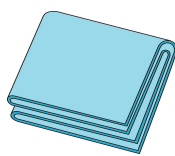


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



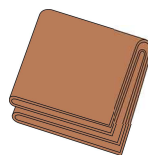
脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



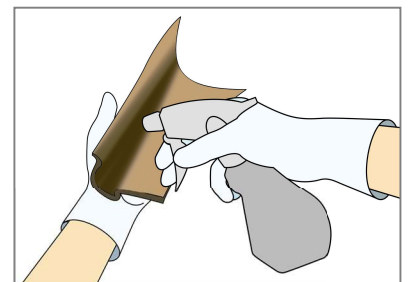
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

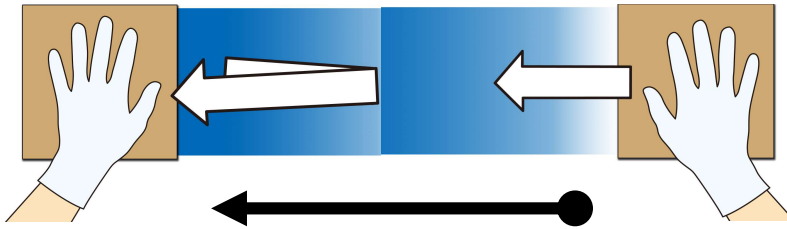
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

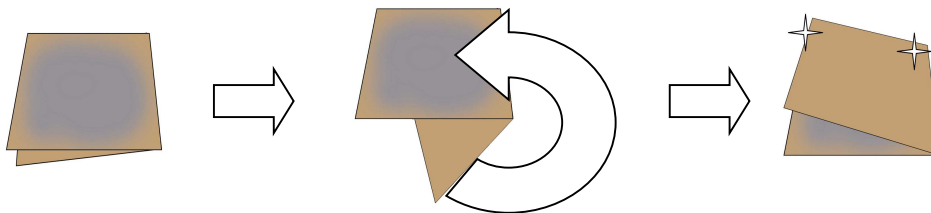
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。